

蒲郡市都市計画マスタープラン説明会 会議録

開催日時	令和4年8月6日（土）午後3時00分から午後4時00分まで
開催場所	形原中学校体育館
出席者	<p>【住民】 24名</p> <p>【事務局】 都市開発部 部長 嶋田 丈裕 都市開発部都市計画課 課長 鷹巣 央佳 係長 足立 皓介 技師 大塩 正裕</p> <p>【委託業者】 中央コンサルタンツ株式会社 2名</p>
説明資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・蒲郡市都市計画マスタープラン 説明会資料（蒲郡西部地域）</li> </ul>
会議内容	<p>1 あいさつ</p> <p>2 都市計画マスタープラン内容説明</p> <p>3 質疑応答</p> <p>質問者①： 現行都市計画マスタープランの進捗状況確認は行ったのか。 事務局： 新規の都市計画マスタープラン作成にあたって、現行の都市計画マスタープランに記載された方針等に基づく施策の進捗状況を確認した。</p> <p>質問者①： 現行計画において、未達成の取組みはあったか。 事務局： 形原地区については、都市計画道路の整備がなかなか進められていない状況であった。</p> <p>質問者②： 蒲郡市は海に面している距離が長く、現市長も選挙時リーフレットで三河湾の海岸線でのシーサイドウォーキングコースについて記載していた。 形原地区の海岸では、高齢者も含め様々な方々が歩いたり、リハビリをしたり、とても良い形で活用されている。また、大塚地区や三谷地区周辺も歩行空間が綺麗に整備されている。一方で、浜町や西浦地区ではまだ整備できていない。海岸線沿いで歩行空間を整備して繋ぎ、市民で掃除する、といったことが出来ると素晴らしいと思う。 事務局： 市民の皆様からもウォーキングの要望はよくお聞きするし、市長も、蒲郡の誇るべき海沿いの景観を眺めながらウォーキングをすることは大事なことで、と発言している。都市計画マスタープランにも海沿いのウォーキングコースについての方針を記載する予定。なお、都市マスはあくまでも基本的な方針であり、既存道</p>

会議内容

路を繋ぐのか、専用道路のようなものを新たに設置するのか、といった具体的な事項を記載するものではない。

質問者②：

人口が減少し、名鉄蒲郡線も利用者が減少している。名鉄の運行継続だが、イベントを開催して「乗りましょう」と言うだけでは、あまり効果は無いように思う。利用が増えるよう沿線で工場を誘致する等の取組みが必要では。蒲郡市は工場誘致をしようとしても土地が無いのが現状だと思う。市内にこだわらず、また、市だけの取組みにこだわらず、もっと大きな規模で考えたほうがよい。

道路について、現在、田原市まで三遠南信道路が延伸することが決定されているが、その道路をさらに延伸して、海岸沿を通り伊勢湾岸道路まで繋げることができれば、浜松市と中京圏の交通アクセスが良くなり、蒲郡市の人口も横ばいに保つことが出来るのではないかと思う。

事務局：

工業用地については、蒲郡市は土地があるように見えて実はあまり無い。これまでは埋め立てにより海側で工業用地を整備してきた。今後は、国道23号バイパスの蒲郡西インターや蒲郡インター付近といった交通利便性の高いところで工業化を進める必要があると考えており、新規マスタープランにおいても、その辺りで工業系のゾーンを位置づけている。

また、名鉄については、やはりまずは利用者の存在が必要。人口が増加すれば、当然利用者数も増加すると思うが、どのように人口増・定住化を図っていくのか、という事が大きな問題だと考えている。

また、令和6年度に国道23号蒲郡バイパスの全線開通が予定されており、豊橋方面とも繋がることで蒲郡市の利便性はますます高まると考えられる。さらに、岡崎方面で国道1号、新東名高速道路、東名高速道路とさらに繋がる事が出来れば、工業化においても観光客の増加においても、ますます期待できると思う。そういった道路整備の構想を行いながら、今後まちづくりを進めていく必要があると考えている。

質問者③：

都市計画道路の見直しについて、都市計画道路を廃止することはあるのか。

事務局：

都市計画道路はもっとも古いものは昭和20年代に計画されており、まちが形成されていく中で、実現が難しくなったものもある。都市計画道路の区域内は、土地利用規制がかかった状態となるので、本市においても、平成31年4月に都市計画道路の見直し方針を公表し令和3年度末で都市計画変更を行った。形原・西浦地区については、深溝西浦線や幡豆線の一部を廃止したが、その他の路線は現在も検討中。都市計画道路の代わりに既存の道路を拡幅等して、現在の都市計画決定された道路と同等のものとして活用できないか、といったことを考えているところ。

もう少し具体的な方針を改めて検討する必要があると思っており、今回の都市計画マスタープランにおいても見直しの継続という位置づけにしている。

会議内容

質問者③：

深溝西浦線は途中で止まっているが、都市計画決定されているまちなかではなく、海沿いのルートにすればよいのでは。都市計画道路をそのまま維持する必要性はあるのか。

事務局：

ご指摘の部分は、新しく消防の西部出張所ができる部分の南側かと思うが、都市計画道路ではない市道として県道東幡豆蒲郡線まで整備した路線を海側へ延伸するという構想もある。なお、この構想は、知柄漁港での土地利用の進捗も含めて検討されて進むものと認識しているが、まだ土地利用検討が進んでいない状況。それが、この道路の構想が具体的になっていない要因の一つだと思う。また、名鉄の横断といった技術的な問題や、道路が整備されたとしても、大雨や強風時には使えない可能性がある。こういったことを踏まえて、愛知県とも検討している。

質問者③：

半島の東側に堤防道路が整備されたので、観光道路としてはそれほど必要ないと思うが、やはりこのままだと西浦はもっと寂れてしまうと思う。うまく考えていただきたい。

事務局：

午前中に西浦地区で開催した住民説明会でも、同じようなご意見をいただいた。それだけ地域の皆様の思いが強いところだと思うので、庁内や県とも考えたい。

質問者④：

先日、形原中学校で公共施設マネジメントのワークショップが開催されたが、その際、中学生から「蒲都市に魅力はあるが、大学卒業後に戻ってこようか」という意見があった。蒲都市に何が足りないのかを今後考えていく上で、若い人の意見を取り入れることが大切だと思う。若い人達が住みやすいまちづくりを是非お願いしたい。

また、高齢者の立場から申し上げますと、人生100年時代の中で、車いすの人でも積極的にまちへ出かけられるよう、道路の拡幅や自動車からも身を守れる安全な道路整備をしていただきたい。

事務局：

住民説明会に若い方がなかなか集まらず、力不足、宣伝力の弱さを認識している。若い方にも伝わる周知方法を研究したい。

安全な道路整備については、所謂バリアフリーの話だと思うが、これについては、国としても移動円滑化を推進するために各公共施設や道路を改善していこうという法律を定めている。

道路の拡幅については、まず物理的に拡幅のための空間が必要で、道路が狭いところではなかなか実施が難しいのが現状。しかし、歩車分離されている道路は必要だと思う。都市計画道路はまちの骨格として重要なものと認識している。

質問者⑤：

地域の弱みとして、西浦駅周辺の低未利用地について記載されているが所有者は誰か。また、市として今後の構想があれば教えていただきたい。

事務局：

西浦駅周辺の低未利用地について、所有者の調査は行っていない。5年に一度、市内の主に市街化区域を対象に、土地利用の見

会議内容

た目の調査を行っており、空き地や田・畑といった建物が建っていないところを低未利用地として分類している。

市としては、駅周辺に住宅・店舗等がたくさん建ってほしいという方向性は考えているが、そのための具体的な施策については今後検討予定。

質問者⑤：

午前中の西浦地区での住民説明会でも、低未利用地に関する質問はあったか。

事務局：

西浦地区では、なかった。

質問者⑤：

意識が薄いのだと思う。こういった資料で整理して、地域の弱みや課題が明らかになったので、いかにしてフォローしていくかが大切では。

また、地域の弱みとして、老朽化した建物が多いと記載されているが、これは空き家等も含まれるのか。

事務局：

老朽化については、西浦地区でもご意見があった。家の建て替えがなかなか進まないのは道路が狭いからで、区画整理は出来ないのか、というご意見もあった。実際に区画整理を行うのであれば、市民の皆様の思いが大事、と回答したが、道路が狭いから建て替えが進まない、というのは、幹線道路だけでなく生活道路も整備して、住みやすくしなければ、建て替えも進まないのではないかと思っている。そういったことを市の中でも議論しているところ。

質問者②：

先日、蒲郡若者会議の中間発表があり参加した。若者会議には都市計画課から誰か参加しているのか。

中間発表では、高校生や大学生が4～5人のグループで色々勉強しながら、将来の蒲郡市について意見を述べており非常に参考になると感じた。住民説明会のような場が一緒に開催されれば、より色々な意見が出て素晴らしい構想が出来るのではないかと思う。

事務局：

若者会議について、昨年度は都市計画課からも指導者役として参加していたが、今年度は参加していない。昨年度の報告書は拝見しており、なかなか面白い意見や、若者らしい斬新な意見があると感じている。今後開催予定のSDGsマルシェでオープンハウス形式での説明も予定しており、そういった方とも意見交換できればと思っている。出来るだけ多くの方からご意見をお伺いすることで、計画と市民の皆様の思いを近づけていきたい。

以上